『ひなんものがたり』（ショートバージョン）

作：広島県 危機管理監 みんなで減災推進課
（2026年7月23日　第2版）

スライド 1



小学生のまこちゃんは、
お父さん、お母さん、そして
ひろしおじいちゃんと一緒に暮らしています。
おうちの近くには、山と川があります。

ある日のこと、テレビの天気予報を見ていると…
おや？これは何かな？



「台風が発生したみたいだね！」
お父さんが言いました。



「近くに来るみたいね。大雨になるって言ってるわ！
風も強くなるんだって！
どうしましょう！」
お母さんは心配そうです。

スライド 2





「台風が近くに来たり、大雨になったりするときは、
ふだんとちがうことが起こることがあるのよ。」



「どんなことが起こるの？」



「お買い物に行けなくなるかもしれないのよ。
それと、水が出なくなることもあるの。」

そこで、必要になりそうなものを準備することにしました。

コラム１「避難に必要な非常持出品や備蓄品を準備しよう！」
＊非常持出品や備蓄品の一覧は、次のQRコードで確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイト(防災グッズ一覧) ▸

スライド 3



しばらくすると、雨が降り始め、風も強くなってきました。



「山と川が近いけど、おうちにいても大丈夫かしら。」
お母さんは心配そうです。



「そうだね。山から土や木などが流れる土石流というものや、
川の水があふれる洪水というものが起こるかもしれないな。」
お父さんも心配そうです。



「雨が降り続いたら、安全な場所に避難した方が
良さそうじゃな。」

地図を見て、安全な避難所の場所と、
そこまでの道順を確認しました。

スライド 4



さて、みんなで晩御飯を食べていると、
ピカピカ、雷です！
テレビのアナウンサーが、



「危ない場所にいる人は避難しましょう！」
と、言っています。

それを聞いて、あわてて、まこちゃんは言いました。

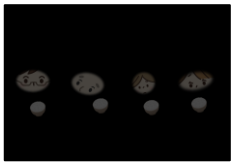


「みんなで避難所に行こうよ！」

そこに、ゴロゴロ、ドカーン！

コラム2 「ハザードマップを見ておこう！」
①自宅やその周辺の、土砂災害、洪水、高潮の危険性を確認しましょう。
②安全な避難先を、2つ以上決めましょう。
・市町が指定する避難所は、ハザードマップで確認できます。
・親戚や知人の家、ホテルなども避難先の候補として検討しましょう。
・自宅が安全な場合は、「自宅」を避難先にすることが可能です。
（避難先は、災害種別ごとに確認が必要です。）
③安全な避難経路を歩いておきましょう。
＊ハザードマップは、次のQRコードで確認できます。　ハザードマップポータルサイトHP ▸

スライド 5



あら？ まっくら！
停電になってしまったみたいです！

まわりが見えないと、危ないよね！
どうしましょう！

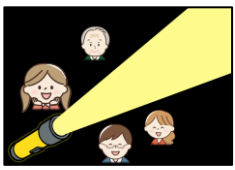
…とそのとき！

スライド 6



ピカーン！
どこからか、明るい光が部屋を照らしました。

スライド 7





「おお！まこちゃんありがとう！」



「懐中電灯を、準備しておいてよかった！」



「そうね！さあ！
もっと危ないことが起こる前に、避難所に行きましょう！」

コラム3 「災害時の情報収集方法を確認しておこう！」
テレビやラジオ、スマートフォンなど、複数の手段で確認しておきましょう。
＊災害時に役立つ情報は、次のQRコードで確認できます。

「災害時、見てほしい情報」
～適切な避難行動のための防災情報ポータルサイト｜広島県HP ▸

スライド 8



少し雨が弱くなっているあいだに、まこちゃんたちは、
避難所に向かいました。道には、ときどき深く水がたまって
いるところがあります。おじいちゃんは、ひざが痛くて、
歩くのに時間がかかっています。

果たして、まこちゃん家族の運命やいかに！

スライド 9





「あ、避難所が見えたぞ！」

ハザードマップで、道順を調べていたので、
なんとか避難所にたどり着くことができました。

ああ、良かった！
早めに避難を始めたので、
ぶじに避難所にたどり着くことができました。

コラム４ 「避難のタイミングを決めておこう！」
避難に時間のかかる人は早めに避難を開始しましょう。

＊避難情報の発令状況は、次のQRコードから確認できます。
広島県防災Webポータルサイト ▸

【避難情報の例】

警戒レベル３ 高齢者等避難	危険な場所にいる人、避難に時間を要する人（高齢者の方、車いすが必要な方、乳幼児等）は避難
警戒レベル４ 避難指示	危険な場所にいる人は全員避難

スライド 10



避難所につくと、電気や水道が止まっていましたが、
必要なものを持って行ったので、
ぶじに過ごすことができました。

みんなも、おうちの人と話し合って、
安全な場所に、早めに避難できるように
しておきましょうね。

そして、いざというときには、
みんなで大切な命を守りましょう！

コラム５ 「 LINE版マイ・タイムラインを作成しよう！」
住所を入力するだけで、周辺の危険な場所や、最寄りの避難所を確認できます。
危険が迫ったときは、LINEで避難情報が通知されます。
＊LINE版マイ・タイムラインの作成方法は、次のQRコードから確認できます。

広島県「みんなで減災」はじめの一歩ポータルサイト ▸